

Club Je Pense

2021年6月講義

哲学的思考法でM&A考察

今月は基本的な
哲学的な思考法を復習しながら
M&Aについて考えていきましょう

哲学的思考法の基本

- ①定義の確認
- ②全てを疑う
- ③構造を見る
- ④問いをメタ認知
- ⑤考えるということを考える

①定義の確認

あるテーマについて考える時
そこで使われている言葉の定義を
明確にしておくことで
他者との認識のズレを最小限にする

例えば

結婚は良いものか？

を論じる時には
「結婚」と「良い」の定義を
厳密に定める必要がある

②全てを疑う

提示された情報について
鵜呑みにせず裏を取るなり

裏を取れないまでも

情報を仮定として距離を置いて扱う

例えば

採用面接などでは

履歴書の情報や質問に対する回答など

本音なのか建前なのか

様々な仮説を立てながら情報を精査する

③構造を見る

どういう背景があるのかや
どういう文脈なのかなど
そのテーマを論じるに至った
構造の把握に努める

例えば

「選択と集中のため事業を売却」

という言葉を知ったら

なぜ「選択と集中」が「売却」なのか

その言葉が出てくる背景を考える

④ 問いをメタ認知

その問いはどんな目的があるのかや
その問い方は正しいのかなど
ただ問いに答えるのではなく
問いを俯瞰して問い自体を問い直す

例えば

「あなたは優秀ですか？」

という問いに対して

「優秀です」「優秀ではありません」

と答えるのではなく

この質問は何を求めている質問で
どう答えることで自分が有利になるかを考える

⑤考えるということを考える

考える目的

考える対象

考える深度

考える手法

など

自分がどう考えるかを考える

例えば

「幸せ」について考えるとして
ただ哲学的に難しく考えて
幸せの意味がわからなくなり
生きていること嫌になってしまつては
哲学を善用できていない

目的：より幸せを感じるために

対象：働くということについて

深度：すぐ行動に移せるまで

手法：実存的に考える

など

以上の5点を意識しながら
M&Aについて考えていきましょう

①定義の確認

それではまず
今回のテーマである
「M&A」の定義を確認

M&Aとは

「Mergers (合併)」 and 「Acquisitions (買収)」

の略で直訳すると

「合併と買収」という意味

今回は買収のみについて考えます

買収とは

- ・ 買い取ること
- ・ 密かに利益を与えて味方に引き入れること

それでは
実際の案件を見ながら
様々な角度から考えてみましょう